

クローズアップ

渡瀬熊野神社の云われある御神輿

私が生まれ育った渡瀬集落は、かつての戸沢村や小坂峠を経由した羽州街道の宿場として多くの旅人や出羽諸大名の行列が往来し、街道沿いの家並みにはそうした面影が多く残る集落でした。

しかし、七ヶ宿ダム建設を機に集落の全戸（50戸ほど）が解体され、ほとんどの住民が町外に移住したことから、住民交流を図りたいとの思いで熊野神社の社殿を瀬見原団地内に再建し、今日も維持に努めていますが、このところ高齢化や子や孫への世代交代により祭礼への参列者も激減し、この先、神社の維持管理に大きな不安を感じる日々を過ごしています。

渡瀬の熊野神社は1555年に紀州熊野山大権現を勧請したと伝わっており、大きくて荘厳な御神輿が奉納されていますが、大火災がたびたび発生したことから御神輿は社殿に安置され続け、新たな社殿でも大切に安置しています。



今回は関在住の村上 満さんよりお話を伺いました。

永い歴史の中で深く住民がかかわってきた集落の財産として、或いは七ヶ宿ダム湖に沈んだ集落の貴重な文化財として、後世に遺していければと願っていますので、町の文化財保護委員会などの関係機関においても、是非、ご検討頂きたいものです。



議会を傍聴してみませんか？

次回の議会は令和7年9月2日から16日の会期で、第3回定例会を開催予定です。
傍聴に関してのご質問は「七ヶ宿町議会事務局」までお気軽にお問合せ下さい。

編集後記

6月定例議会の初日には、白石高等学校七ヶ宿校の3年生8名が議会傍聴に訪れましたが、多くのみなさんにも議会傍聴にお越しただけだと思います。

このところの高温の天気が続き、農作物への影響も心配されますが、体調に気を付けながら、元気に過ごせる様に願っています。

(吉田)



議会広報特別委員会

委員長	吉田 修
副委員長	高橋 浩之
委員	五十嵐 敏夫
委員	高橋 きく子

議会だより作成のため、お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。



現在町のホームページからも議会の内容や議会だよりをご覧いただけます。

▷ 連絡先 七ヶ宿町議会事務局 ☎ 37-2197 FAX 37-2198

6月定例会の
傍聴者は13名
でした